



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかに子 ころあたたか子

最後まで「やりぬく」おづっこに!

校庭の木々の新緑がまぶしいすがすがしい季節となりました。令和6年度がスタートし、早1か月が過ぎ、子どもたちは新たな気持ちで、学習面・生活面に頑張っています。4月26日(金)に実施しました学習公開および学級懇談会には、ご多用の中たくさんの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございます。本年度PTA総会は、業務改善のため5月30日に書面決議とする予定です。



シンボルツリーの「松の木」

さて、本校の学校教育目標は、学校だより4月号でも紹介しましたが、「豊かな心と生きる力をもち 自ら考え やりぬく小津の子」です。今年は「やりぬく」を意識して学校生活を送りましょうと始業式に子どもたちに話しました。「やりぬく」とは「あきらめずに最後までやり通す」ということです。そのためには、「Guts(ガッツ・勇气)」と「Resilience(レジリエンス・修復力)」が必要です。勉強・スポーツ・習い事などで、最後までがんばることができるかどうか不安になるような大きな壁にぶつかることがあります。そんな時、大きな壁を乗り越えるために前

に突き進む「勇气」が「Guts(ガッツ)」です。さらに、Guts(ガッツ)をもって突き進んでもうまくいかず、転んで心や身体が傷ついたとき、いつまでもくよくよせず、しなやかに立ち直る力「修復力」がResilience(レジリエンス)です。「Guts(ガッツ)」と「Resilience(レジリエンス)」をもち、「あきらめずに最後までやりぬく」を意識して学校生活を送ってほしいです。

さて、小津小学校は今年度創立150周年を迎えます。明治7年(1874年)に、久敬学校(杉江)、知道学校(山賀・森川原・欲賀)、醴泉学校(大林・三宅・金森)の三校が開校したのが始まりです。いずれの学校も開設の費用は、地元の方々の出資(献金)によって賄われました。以来150年、小津学区は「教育村」として誇りを持ち続け、地域・保護者・学校が力を合わせて学区の子どもたちの育成に力を注いできました。10月11日(金)には、「創立150周年記念全校集会」を開き、おづっこたちと母校の誕生日を祝う予定です。小津の伝統を守り継承しつつ、新しい歴史を刻む礎(いしずえ)となる1年にしていきます。

また、「小津学区教育後援会」様には、昭和37年(1962年)の結成以来、小津小学校区在住の皆様のご支援・ご協力を得て、本校教育に必要なサポートを物心両面でしていただいています。地域の皆様のご支援に支えられて、小津小学校での教育活動が続けられますことに感謝いたします。

